

# レッドカーランツの新樹形と病害虫防除技術

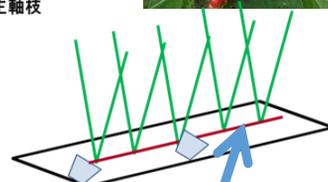
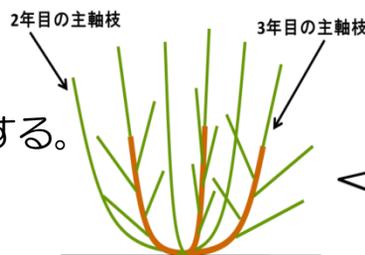
## 技術の概要

### ★新樹形①：主軸枝6本樹形

- ①樹を2年目の主軸枝数3本と3年目の主軸枝3本で構成する。
- ②収穫時は3年目の主軸枝を切り離してから果房を収穫する。

### ★新樹形②：V字仕立て

- ①苗木を横に寝かせて定植する。
- ②樹は2年目の主軸枝のみで構成し  
植栽列1m当たり20本の主軸枝を配置する。



横に寝かせて定植した苗木

図 新樹形イメージ（左：主軸枝6本樹形、右図：V字仕立て）

★主軸枝を衰弱または枯死させる  
スグリ茎枯病は、罹病部位の剪除と枯死樹の廃棄を行う。剪除は、病斑部と健全部の境界から10cm程度健全部側で切り取り、剪除した枝は園外で適切に処分する。

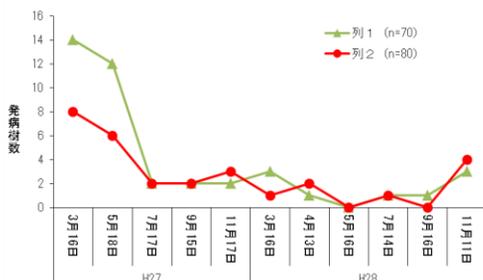


図 剪除処理によるスグリ茎枯病被害樹への影響（山元町現地実証圃）



## 期待される効果

### ★主軸枝6本樹形

- ①果実1kgの収穫時間が19.8分と慣行樹形と比べて36%削減可能。図 剪除処理の方法
- ②露地栽培した場合、1a当たり収量はおよそ130kg。

### ★V字仕立て

- ①果実1kgの収穫時間が12.9分と慣行樹形と比べて58%削減可能。
- ②主軸枝6本樹形より形の良い房が多くとれる。また、1a当たり収量は100kg。

★スグリ茎枯病被害枝の剪除処理により、主軸枝の衰弱や枯死が大幅に抑制されるため、省力型樹形の維持が容易になり、目標とする収量を達成することができる。

## 【お問い合わせ先】

宮城県農業・園芸総合研究所（宮城県名取市）

TEL:022-383-8134

秋田県果樹試験場 総務企画室 天王分場班（秋田県湯上市） TEL:018-878-2251